

第一大宮株式会社

・ 代表取締役 松岡 貴峰

・ 摂津市

<https://no1ohmiya.co.jp/>

同社は、1964 年（昭和 39 年）に段ボール製品を製造事業者として創業し、現在は、プラスチック段ボール（プラダン）、養生資材の製造を行っている。

一般的なポリプロピレン（PP）の他、ポリエチレン（PE）・ポリカーボネート（PC）等多様な素材を用いて付加価値の高いプラダンを用いたボックスや仕切り等を製造している。素材のシートは反発力が大きく、通常は曲げ加工が難しいが、同社は独自に開発した設備により箱型への成形を可能としている。また、シートを留めるために、過去には金属鋸を用いていたが、リサイクルを容易にするために、現在では独自開発の設備により熱による接着や超音波による接着を行っており、これらの独自開発の設備は 20 種類に及び、技術開発力の高さがうかがえる。

代表製品の一つである「ドウ・セラーボックス」は、持続性帯電防止層を表面に備えた低発泡シートを使用した衛生的なプラダンで、食品業界を中心に採用が広がっている。また、「FC-3」は、PP 製超軽量中空ハニカムシートを使用した折りたたみ式ボックスで、射出成型で製造されたコンテナよりも軽量で、アパレル業界でも利用されている。

自動車業界など従来からの販路に依存することなく、新たなニーズを積極的に掘り起こし、独自の技術開発と製品展開によって市場の要請に応えている点が高く評価され、今回の受賞に至った。